

大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金 報告書

Outcome report

計画名 Plan	中国農村部におけるジェンダー秩序の変遷に関する質的調査
氏名 Name	鄭 怡
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	文学研究科・行動文化学専攻・D1
渡航国 Country	中国
渡航日程 Travel schedule	2023年11月24日～2024年2月28日

- ページ数に制限はありません。No limits on the number of pages
- 写真や図なども組み込んでいただいて結構です。You can include pictures or illustrations.
- 各項目について具体的に記述してください。Please fill in each item specifically.
- 日本語または英語で記載ください。Please use Japanese or English.

渡航計画の概要 Outline of the travel plan

本渡航の目的は博士後期課程の一環としての質的調査を実施することである。博士後期課程では、農村部から都市部への一時的な教育移住「陪読」に着目することで、中国農村部における女性役割の転換を検討する。「男女平等」を掲げ、社会主義を経験した中国では、農村部でも男女の性別役割分業が開始され、ヨーロッパや日本に遅れて、逆戻り的な「再主婦化」を経験しはじめているのかを考察し、未開拓のこの分野への関心を喚起する。

一：2023年11月26～2024年1月17日：江西省にて40代から70代までの14人の「陪読」農村女性に対して詳細なインタビュー調査と生活史調査を行なった。具体的には予定通りに、インタビュー調査で、①「陪読」をした人の属性：年齢、経済水準（階層性）、教育水準（学歴）、②「陪読」農村女性の家族の属性：夫の年齢・職業・収入、親の年齢・（元）職業・収入、子どもの数・年齢・性別、③「陪読」をした人の職業キャリア歴（「陪読」前の職歴の有無、職種・仕事内容）、④「陪読」をするようになった具体的な経緯：「陪読」に乗り出した理由・動機、⑤主婦アイデンティティ：調査対象者本人が持つ自己アイデンティティ・理想的な主婦像、家事育児に関わる不安などについて、インタビューを行なった。生活史調査で、結婚や出産などのライフイベントを機に、インタビューたちの生活にどのような変化があったのか、また、「陪読」期間中に経験した「専業主婦」化は一時的なものなのか、それとも継続的なものなのか、などのことについて調査を実施した。

二：2024年1月18日～2024年2月17日：実家が江西省にあり、「陪読」先が浙江省にある1人の農村女性の「陪読」生活に対して参与観察を行なった。江西省と浙江省を往復しながら「陪読」していた女性の具体的な様子や、「陪読」期間中の夫婦関係・親子関係・親族関係・友人関係、役割葛藤などについて参与観察をした。

三：2024年1月18日～2024年2月27日：浙江省にて30代の8人の「陪読」農村女性に対して詳細なインタビュー調査と生活史調査を行なった。インタビュー調査と生活史調査の具体的な内容は（一）と同様である。

成果 Outcome

今回の海外渡航を通じて、中国農村部で増加している「陪読」について、どのような人が「陪読」をしているか、「陪読」生活とは具体的にどのようなものか、などを把握することによって、農村部におけるジェンダー秩序の再編状況や動向を考察し、都市部のそれと比較分析を行うことが可能になった。

今後の展望 Prospects for the future

一：今執筆中の投稿論文を完成させ、ケアとジェンダーでみる中国の「陪読」農村女性のライフコースを描き出していく。

二：今回の海外質的調査を通じて改革開放へ舵を取った後の中国全体のジェンダー秩序の再編過程をより包括的に把握する。